

第8回「万葉集を楽しむ会@花奈雅和」のご報告

令和2年最後の「万葉集を楽しむ会@花奈雅和」が12月16日に開かれました。リアル参加が13名、別の日のリモート参加が3名で@花奈雅和として16名の参加者でした。



全員マスクで

今回のテーマは「コケ（苔、蘚、蘚）」です。胞子で増える植物で岩や地表が長く放置された時に生え、コケ植物（苔類、蘚類、ツノゴケ類）の総称です。広義には地衣類を含みます。今日は「維管束（いかんそく）」という中学生の理科で習ったはずの言葉を含め、植物の分類のお話もしていただきました。



ゼニゴケ：苔類の代表



スギゴケ：蘚類の代表



ニワツノゴケ



サルオガセ（地衣類）

万葉集ではコケは11首歌われており、そのうち「苔むす」が10首。苔むすの「むす」は生えるという意味で、長い時の流れや永久を表しており長寿を願う大事な言葉だったそうです。日本の国歌である君が代の中にも「苔のむすまで」の表現がありますが、その元歌（本歌）が古今集であることを教えていただきました。古今集では妻が夫の長寿を願う歌です。

「わが君は 千代にやちよに さざれ石の 巖となりて苔のむすまで」

古今和歌集 詠み人知らず 343番

次に万葉集に収められているコケの歌2首を紹介いただきました。

（原文）奥山之 磐尔蘚生 恐毛 問賜鴨 念不堪國

（訓読）奥山の岩に苔生し 畏くも 問ひたまふかも 思ひあへなくに

（意味）奥山の岩に苔が生えているのは恐れ多いことですが、そのように恐れ多くも歌を詠めと仰せられますか。そう仰せられても困ってしまいます。

6/962 葛井広成（ふじいのひろなり）

天平2年（729年）に大宰府の大伴旅人の宅で開かれた大伴道足を歓迎する宴会で、主人（大伴道足）のお付きで来ていた葛井広成が急な要望を受けて詠んだ歌です。なんともおお

らかですね。百済王の末裔で、葛井は天皇から賜った名前です。当時、渡来人であっても優秀でさえあれば登用するという技量のある時代であったので、葛井広成が能力を認められついに天皇を迎えて宴会を開き、お泊めするほど出世したと伺いびっくりいたしました。

(原文) 結紐 解日遠 敷細 吾木枕 蘿生来

(訓読) 結へる紐 解かむ日遠み 敷栲の 我が木枕は 苔生しにけり

(意味) あなたが結んでくださった紐を、(またいらっしゃって) 解いてくださる日が遠いので、私の枕には苔が生えてきています。 11/2630 作者未詳

会いに来てほしいと直接言わずに枕で象徴しているのがなんとも奥ゆかしいです。

さらに日本人の苔に対する気持ちのわかる歌をもう2首教えていただきました。

三芳野乃 玉松之枝者 波思吉香聞 君之御言乎 持而加欲波久

み吉野の玉松が枝は はしきかも 君が御言を 持ちて通はく

(意味) 吉野の美しい松の枝はなんて慕わしく思えるのでしょうか。あなたのお言葉を 持って飛鳥の都まで通ってくるなんて。 1/113 額田王

歌は付けずに「蘿(こけ)生(む)せる松」の枝を贈られたそうです。歌はなくとも苔を見て、弓削皇子が年の離れた額田の長寿を願ってくれているのがすぐわかり、嬉しくて詠んだ歌です。この歌の前の1/111と・1/112ではズリハの歌で弓削身と額田王の歌、これは昨年6月にご紹介いただきました。

三芳野之 青根我峯之 蘿席 誰将織 経緯無二

み吉野の 青根が岳の 蘿(こけ)むしろ 誰(た)れか織りけむ 経緯なしに

(意味) 吉野の青根が岳の苔の絨毯は誰が編んだのでしょうか。経糸も横糸も無いのに 7/1120 作者未詳

苔のじゅうたん、という表現に苔を愛する万葉の人々の思いが伝わります。

今回、ご紹介いただいた4首の歌を皆で唱和して会の締めくくりといたしました。

先生の着物はモスグリーンの訪問着で、スギゴケにちなんでスギの柄、マスク(手作り)も苔の色、帯は雨が降った後にコケが朝日で光る様子に見立てた銀色、帯締めは「苔色」と帯留めはスギゴケの胞子とコケづくしでした。



参加者の皆さんの感想（一部）

●リアルで会えて無事が確認できて嬉しい。苔でコケないように気を付けます●盆栽に苔は合うが薔薇には合わない。外国の人はどう感じているのだろう（先生より、総じてコケに対してあまり印象は良くないとのこと。だがイギリスのフラワーショーで認められた）●チェルシーのフラワーショーで苔のブースが輝いているのを見て誇らしかったです●ゆるゆるはで習った弓削皇子の歌と今日の額田王の歌で点と点が繋がったので面にしていけたらと思います●三千院の苔もいいです●（写真で送ってもらった）モスグリーンの着物しびしくて素敵です。万葉集の奥深さを知りました。（リモート参加者）

第9回万葉集を楽しむ会@花奈雅和のお知らせ

開催日時： 令和3年2月17日（水） 10:00 ～ 12:00

場所： プララ杉田 505号室

参加費： 1500円

◎参加申し込みは杉本啓子にお願いいたします。 keni9ri@yahoo.ne.jp

令和2年12月26日 文責：三浦美智子・高木紀世子

~~~~~  
万葉集を楽しむ会@花奈雅和

講師 吾意在野游・高木紀世子

世話役： 水野裕子（代表世話役）、杉本啓子（名簿管理）、三浦美智子（書記）  
多比良恵子（会計）

~~~~~  
追加情報

2月17日にご都合の悪い方は下記に参加できます。参加ご希望の方は直接講師（c c杉本さん）にご連絡ください。会費は同じ1500円です。 paksara3t@r7.dion.ne.jp

令和3年1月26日（火） 10:00 ～ 12:00

令和3年2月7日（日） 10:00 ～ 12:00

令和3年2月9日（水） 10:00 ～ 12:00
